

セキュリティの事例研究: 侵入防御ソフトウェアをアップデートし、エンドポイントのセキュリティを強化する

Cisco Security Agent Version 4.5 は悪意ある振る舞いを排除し、ウィルスやワームに感染したシステムを復元させるのにかかるコストを抑えます。

ビジネス上の利点

- ウィルスやワームに感染したシステムの復元に関連して発生するコストの抑制
- ウィルス感染を防止することによる従業員の生産性の向上
- 過去に感染したシステムの検知
- 従業員の利便性の向上
- 設定やカスタマイズの簡便化
- 通常業務遂行上の信頼性の獲得

「Cisco Security Agent Version 4.5 は非常に効果が高いことが証明されました。38,000 台のデバイスのうち、感染が確認されるのは週に 15 ~ 20 台に過ぎません」

どのような規模の組織であれ、ウィルスやワーム、その他これに類するネットワークのセキュリティ侵害によって自らのネットワークが壊滅的な打撃を受けないように保護しています。2005 年、シスコシステムズ® では、自社のネットワークに最新版の Cisco® Security Agent ソリューションを導入し、ウィルスやワームの感染に対するセキュリティを強化しました。

セキュリティの脅威に対応することは継続した取り組みです。2004 年の Cisco Security Agent Version 4.0 導入後も、ネットワークへの脅威は増大し続けていました。そのため、ネットワークを悪意ある振る舞いから保護する新しい機能が必要でした。

シスコは増大する脅威に対応するために Cisco Security Agent Version 4.5 を導入することにしました。Cisco Security Agent Version 4.5 は、従来のエンドポイントセキュリティソリューションに比べ性能に優れ、悪意ある振る舞いを察知し、セキュリティ侵害を防ぎます。また、既知のものであれ未知のものであれ、企業のネットワークやアプリケーションに対する潜在的なセキュリティリスクについても、これを排除します。このソリューションには、通常見られないような振る舞いがないかどうかを様々なアプリケーションや OS

で認識するためのポリシーが組み込まれています。

様々な新しい機能が強化・導入されています。Cisco Security Agent Version 4.5 は旧バージョンと比べ様々な機能強化がなされています。その中には、スケーラビリティの拡張、多言語サポート、ユーザベースのルールやポリシー、接続場所に基づくルールやポリシー、アプリケーション インベントリの追跡、ホットフィックスやサービスパックの管理、クリップボードデータのセキュリティの確保、アンチウィルス DAT のバージョン確認、Windows クラスタや Red Hat Enterprise Linux、Windows XP Home Edition プラットフォームのサポートなどがあります。

非常に高い効果が証明されています。感染した PC を復元させるのに 1 台あたり 300 ドルのコストがかかることを考えると、ウィルスに感染させないようにするためにコストをかけることは、本当の意味でのコスト抑制を実現したことを表しています。これまでに、Cisco Security Agent Version 4.5 は非常に高い効果を発揮しています。全部で 38,000 台以上のデバイスの内、感染が確認されるホストは週にたった 15 ~ 20 台程度です。さらに重要なことに、シスコでは 18 ヶ月以上もの間、最優先での対応が必要となるようなウィルスの蔓延は確認されていません。

コスト抑制や生産性向上に加え、Cisco Security Agent Version 4.5 がもたらす信頼性は新たな段階に入りました。例えばまたウィルスが蔓延したとしても、シスコでは何層もの強力な防衛網が構築されている状態になっています。そして、仮にウィルスが E メール ゲートウェイ フィルタやウィルススキャンを潜り抜けたとしても、従業員各自のデスクトップには Cisco Security Agent が待ち受けており、それ以上の感染拡大は防がれることになります。

その他、各ビジネスソリューションに対する Cisco IT の事例研究は、
Cisco IT @ Work をご覧ください
<http://www.cisco.com/jp> (シスコについて→Cisco IT@ Work)

付記

この文書に記載されている事例は、シスコが自社製品の展開によって得たものであり、この結果には様々な要因が関連していると考えられるため、同様の結果を別の事例で得られることを保証するものではありません。

この文書は、明示、黙示に関わらず、商品性の保証や特定用途への適合性を含む、いかなる保証をも与えるものではありません。

司法権によっては、明示、黙示に関わらず上記免責を認めない場合があります。その場合、この免責事項は適用されないことがあります。

©2007 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCiscoロゴは米国およびその他の国におけるCisco Systems, Inc.の商標または登録商標です。

その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標、登録商標または登録サービスマークです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先(シスコ コンタクトセンター)

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter>

0120-933-122(通話料無料)、03-6670-2992(携帯電話、PHS)

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00